

『な！な！な！』

作 kuwanisi 劇場脚本部

登場人物

セイミ

セイヤ

セイコ

セイラ

セイシロウ

ユキ

父 母

精子1

精子2

精子3

精子4

精子5

白血球

緞帳上がる

舞台の上手より父、下手より母登場

苦勞をかけてすまん。

いいえ、貧乏だって、幸せですから。

そうか。そういつてくれると、心が休まるよ。

さあ、たくさんご飯を食べて、元気に働いてください。

ああ。たくさん食べて、いっぱい働くよ。

ええ、あなたが元気なのが、私にとって幸せなん

(ぐーー)

お前、まさか、

いいの、なんだか、食欲がなくなつて、

父 母 父 母 父 母 父 母

父 母

どこか具合が悪いんじゃないのか？
いいの、あなたが元気なのが、私の
(ぐーーーーー)

父

お前！

母

あなた。

父

ありがとう。

母

がんばって、幸せな家庭を作りましょう。

父

家庭？

母

そう、幸せな家族を。

父

家族。

母

そう、新しい家族を。

父

こうしちゃいられない。床の準備だ！

母

あなた、いいんですか？

父

なにが！

母

第66回中部日本高等学校演劇大会ですよ！

父

馬鹿野郎！ 今時の高校生はな、あんなことやこん

母

なことまで、

父

(遮つて) わかったわ、あなた。もう、遠慮はしない。

母

よおおおおおし！

布団を取り出す

父

お前、

母

あなた

父

お前、

母

あなた

「あなた、おまえ」を繰り返しながら、暗転

明かりがつくと舞台上には精子達が立っている

ついにこの日がやってきた！

はい！

よおく聞け、2億5000万匹の同士達よ！

はい！

目指すは、卵子！ しかし、我々の行く手には数々

の難関がある！

はい！

誰でもいい、すべての試練を乗り越え、卵子にたどり

着くのだ、いいな！

精子1

精子達

精子1

精子達

精子1

精子達

精子1

精子達

精子2 ああ！

精子1 どうした！

精子2 隊長が長々としやべっている間に、みんな次々と倒れていってます！

精子1 どういうことだ！

精子3 隊長！

精子1 どうした？

精子3 私がグーグル検索で調べたところ、

精子達 グーグル検索？

精子3 女性の膣の中は酸性で、我々精子は非常に酸に弱く、すぐに死んでしまうらしいです！

精子1 なに！

精子3 グーグル検索によると、

精子達 グーグル検索？

精子3 酸の攻撃で、およそ80%、2億匹が死ぬらしいです！

精子達 2億匹！

精子1 ああ！

精子1 畜生！ どうすればいいのだ！

精子4 私がヤフー知恵袋で聞いてみたところ、

精子達 ヤフー知恵袋？

精子4 子宮頸管粘液というものが分泌され、我々を酸から守

精子達 ってくれるらしいです！

精子達 子宮頸管粘液！

精子3 そうです、子宮頸管粘液！ この流れにのり、泳ぎ切ることができれば、我々は子宮にたどり着くことができる筈です！

精子4 じゃあ、その子宮頸管粘液はどこから？

精子4 ななな！

精子1 どうした！

精子4 あれだ！

精子達 おお！

精子4 あれが子宮頸管粘液です！

精子1 よおし、あの流れにのるんだ！

精子達 精子・泳ぎながら、段差から降りてくる

精子達 （同時に倒れる）

間

精子1 みんな無事か？

精子3 大半がやられました。

精子1 そうか、でも大丈夫だ。これで、酸の海は越えられた。

精子達 おお！

精子1 多くの犠牲は出したが、我々は子宮にたどり着いたのだ。

精子達 素晴らしい！

精子5 隊長！

精子1 どうした？

精子5 安心してはいられません。

精子1 なぜだ？

精子5 説明を。

精子3 私がグーグル検索で調べたところ、

精子達 グーグル検索？

精子3 女性の子宮の中には、白血球というのがいるそうです。

精子達 白血球！

精子5 そうです。

精子1 その白血球がどうしたのだ？

精子5 説明を。

精子3 その白血球は、我々のことを「敵」だと思っているのです。

精子1 どういうこと？

精子5 ですからね、白血球は、我々のことを「敵」だと思ってるんですよ。

精子1 （精子3に）どういうこと？

精子3 つまり、「ウイルス」だと。

精子1 なぜだ？我々は、2人の愛の結晶を作ろうとしているのだぞ。

精子2 隊長。

精子1 ん？

精子2 愛とっているのは、我々だけなのかもしれませんね。

精子達 あわわわわ、

精子3 意味深！

精子1 そんなことは言ってられない。「敵」とみなすなら戦うのみだ！

精子2 ですが、隊長。我々には、戦う力が残ってません。

精子達 確かに。

精子2 それに、戦う武器ありません。

精子1 お前は誰にしゃべってるんだ！

精子達 どうするんだ、どうするんだ！（やんややんや）

精子2 みなさん、私に作戦があります。

精子達 おお！

精子1 その作戦とは？

精子2 私が検索エンジンで調べたところ、

精子達 検索エンジン？

精子2 血液1マイクロリットルあたり、白血球の個数は3500から9500個程度。

精子1 多いの、少ないの？

精子2 わかりません。ですが、現在の我々の数はやられたといつても、およそ200万程度。

精子1 そうすると、

精子2 多く見積もったとしても、白血球1個あたり我々精子は210匹で戦えます！

精子達 おお！

精子1 具体的には？

精子2 みなさん、ミツバチが、スズメバチを倒すのに、その周りを何重にも取り囲んで、熱によつて倒すのをご存知ですが？

精子1 ということは、

精子2 みんなで白血球を取り囲んでしまえばいい！

精子1 なるほど！

精子5 待て！その作戦には欠点がある。

精子2 なんだと！

精子5 じゃあ、誰がゴールするんだ？

精子2 ななな！

精子5 百歩譲つて、白血球を倒せたとしても。しかし、なか、こう、内側でぎゅうぎゅうに詰まってるやつと、外側でモゾモゾしてるやつと大分違うのか？

精子達 確かに。

精子5 そこで、俺は考えた。みんなに不公平がないような、みんな平等な作戦を！

精子達 おお！

精子5 俺が、ウイキペディアで調べたところ、

精子達 ウイキペディア？

精子5 我々精子が、全力疾走で駆け抜ければいける筈です！

精子1 走りましょう！

精子1 それは作戦？

精子5 「マッスルランナー作戦」です！

精子1 お前、調べてないだろ。

精子5
精子2

ななな！
あれでしょ、ウィキペディアって言葉を知っていると
いう、ちよつとした知識を自慢しただけでしょ。
違いますよ。

精子5
精子2

じゃあ、あれだ。みんなに負けたくなかったからだ。
だから、ウィキペディアって、どっかで聞いたことが
あるようなうな、

精子5

違うもん！
みなさん、待ってください。

精子3

どうした？

精子3

ここは、私の作戦を。

精子1

おお！

精子3

グーグル検索で調べたんですが、
グーグル君。

精子1

進めてくれ、グーグル君。

精子3

早く。

精子1

そんな名前じゃありません。というか、まだ名前あり
ません、っていうか、そのあだ名的なつけ方やめてく
れませんか。

精子3

どうして？

精子2

なんか、このままずっとその名前で呼ばれそうな気が
する。

精子2

いいじゃない、グーグル。

精子3

いやですよ、せっかくなんですから。もつとかつこい
い名前の方がいい！なんていうんですか、皇帝貴族的
な、横文字の、ルイ13世的な、

精子4

グーグル、横文字だよ。

精子5

そういうことじゃないんです！

精子達

じゃあ、ベーグルでいいんじゃない。

精子1

(やんややんや)

精子達

じゃあ、サンプルでいいんじゃない。
おお、いいねえ、サンプル。
わかったわかった。で、どんな作戦なんだ。
はい。グーグル検索で調べたんですが、200万匹を
5つの班に分けるとするのはどうでしょう。

5つの班。

精子 3

そうです。そのまま突っ込んで、みすみす全員やられるぐらいなら、たくさんの道から突入し、

精子達

道。

精子 3

少しでも白血球の目をくませ、

精子達

くませ、

精子 3

そして、誰でもいい、誰かが、卵子にたどり着けば。

精子達

サンプル！

精子 3

そんな名前じゃない。

精子 1

どうだ、みんな。

精子達

・・・・・。

精子 1

賛成の人、

精子達

はい！

精子 1

よし、決まりだ。何班にわけろ？

精子達

うゝん。

精子 3

ですからね、5つの班ぐらいがちょうどいいかと、

精子 1

よし、5班だ！5班に分けるぞ。どうする？

精子達

うゝん。

精子 3

班長を決めましょう。

精子 1

よし、班長だ、班長を決めるぞ。なんでだ？

精子達

うゝん。

精子 3

指示を出す精子がいた方がいい。

精子 1

よし、指示だ。指示出すぞ。誰か、班長を頼めないか。

精子達

危険な仕事だ、しかし、やりがいはある！

精子 3

うゝん。

精子 1

僕が、やります。

精子 3

サンプル、

精子 1

グーグル！

精子 2

私も！

精子 1

エンジン！

精子 5

俺も！

精子 1

ウイキペディア！

精子 4

私も！

精子 1

知恵袋！

精子 4

せめて、ヤフーで。

精子 1

よし、これで4人だ。他にいないか！

間

精子 1

他に、いないか！

間

精子 1
他にいないのか！

全員の視線が精子 1 に集まる。

精子 1
（やけくそで）しょうがねえな！ あとは、私だ。

よし。これで、5 人だ。いざ、目指すは卵子！

見ろ！ いやいよ白血球のお出ましだぜ！

みんな、準備はいい？

精子 5
精子 1
マッスルランナー作戦、実行だ！

精子達は、舞台全体を走り回っている

精子達
うわあ！

いいか、ここからは 5 班に分かれるぞ！

おう！

この中の誰かが、ゴールすればいい！

おう！

頼むぞ、みんな！

おう！

精子 1
精子達
幸運を祈る！

精子達は舞台を走り回り、精子 3 を残してはける

精子 3 は頭を気にしてる

どうやら、怪我をしたらしい

精子 3
だいぶ、減っちゃったなあ。みんな無事かな。

白血球、舞台奥から登場

白血球
無事じゃないかもね。

精子 3
白血球！

無事じゃ、ないだろうなあ。

なんでだよ、なんでこんなことするんだよ。

何が、

精子 3
白血球
僕たちは、2 人の愛の結晶だろ！

白血球
かもね。

精子 3
じゃあ、

白血球
選抜だよ。

精子3

選抜？

白血球

そう、できる限り「良い精子」の方がいいだろ。

精子3

そうかもしれないけど、

白血球

頭の傷、大丈夫か？

精子3

かすり傷だよ。

白血球

そうか。

精子3

そうやって、油断させて、ぶすつとやる気だな！

白血球

見逃してやろうか？

精子3

えっ、

白血球

見逃してやるよ。

精子3

なんで？

白血球

どうせ、お前じゃ、辿り着けないからな。

精子3

そんなことわかんないじゃんか！

白血球

早くいけよ、一番にならないと、意味ないだろ。

精子3

あっ、

白血球

じゃあな、

他の精子達も舞台上に入ってくる

白血球

いいか、お前ら。俺たちだつてな、好きでお前らを殺してるわけじゃねえんだよ。この先、お前らが生きていくための力を持つてるか、試してるだけだ！いわば、これは試験だ。さあ、見事合格して見せる！

精子達

うぐわあ！

精子1

もう少し、

精子2

もう少し、

精子3

もう少し、

精子4

もう少し、

精子5

もう少し、

精子達

見えた！あれが卵管膨大部！

精子達はスローモーションで走りながら中央の舞台へ

照明・ゆっくり暗くなり、

同じ動きをする精子達

それはまるで、新しい命が誕生したかのように

照明・暗転

セイシロウ

（暗転の中）やった！俺、受精した！

セイラ

デジャブだね。

セイコ　ちよつと違うんじゃない？

セイミ　私さ、最初に目覚ましたからさ、こういうの自分も含めて5回見てるのね。

セイコ　ああ。

結構ね、恥ずかしいよ。「受精した」って叫ぶやつ、見るの。

間

セイラ　いいんじゃない、とりあえず、私たちは生き残ったんだから。

全員　いえーい、やった、やった、

セイシロウ　あの、どういふことなんですかね。

セイコ　何が？

セイシロウ　いや、1、2、3、4、5

セイヤ　五つ子だよ。

セイシロウ　「つ」が多い。

セイミ　私ね、一番最初に目覚めたのね。

セイシロウ　はい。

で、あなたと一緒にのように「受精した」って叫んだ訳よ。

セイシロウ　はい。

で、まわり見たらさ、他にも4つもあるじゃない。

セイシロウ　はい。

セイミ　どう。

セイシロウ　どうって、

まあまあ、受精しちゃったものはさ、しょうがないんだから。仲良くやっていこうよ。

セイコ　仲良くできるのかねえ。

セイラ　何よ。

セイコ　できそうにないメンバーでしょ、これ。

セイラ　なんで？

セイコ　なんでって、この狭い部屋の中に5人もいるんだよ。うん。

セイコ　本当だったら、1人部屋だったわけでしょ。

セイラ　そうよ、ものすごい確率で5人になったんだから。

セイコ　誰も望んでないでしょ。

セイラ　ちよつと、

セイコ　望んでないでしょ、五つ子なんて。

セイラ　そんなのわかんないじゃない。

セイコ わかるでしょ、5人いる？

セイラ いるかもしれないでしょ！

セイコ ちよっと、想像してみて。みんな、目を閉じて。

全員 うん。

セイコ ここは、あなたの生まれた家です。

全員 うん。

セイコ 小さいけど、とっても幸せな家です。

全員 うん。

セイコ お父さんも、お母さんも、仲がよくって、笑い声が絶えない家です。

全員 うん。

セイコ 小さいけど、あなたの部屋も用意してくれました。

全員 うん。

セイコ 大きさは、六畳一間です。

全員 うん。

セイコ 小学校に入って、そこに机が入ります。

全員 うん。

セイコ 5個。

全員 ン？

セイコ ベッドも入ります。

全員 うん。

セイコ 5段ベッド。

全員 ン？

セイコ 一番上は、もうちよっとした2階ぐらいの高さです。

全員 ンん？

セイコ はい、目を開けて、下をのぞいてごらん。

全員 こええええええええ！

セイコ 想像できるでしょ、小学校までの生活が。

全員 確かに。

セイヤ たぶん、俺、家に帰ってこないな。

セイミ なんだ？

セイヤ なんてって、帰ってくるとお前らがいるんだろ。

セイミ いるよ、家族だもん。

セイヤ しかも同じ部屋に。

セイミ いるよ、姉弟だもん。

セイヤ 耐えられねえ！

セイラ それは、こっちのセリフです。

セイヤ なんだよ。

セイラ 同じ部屋ってことはだよ、着替えとかさ、そういうのも見られちゃうわけでしょ。

セイミ
（セイヤを指差し）見てそう！
セイヤ
見ねえよ。
セイラ
見たいくせに。
セイヤ
見ねえよ。
セイラ
見たいくせに。
セイシロウ
僕は、見たいな。
セイラ
ほら、見たいじゃん。
セイシロウ
うん。

間

全員
（ざつとにげる）
セイシロウ
えつ、なんですか？
セイコ
びっくり発言だよね。
セイシロウ
いや、でも、
セイラ
別に、私は見せてもいいけど。
全員
（ざつと逃げる）
セイコ
それも、びっくり発言だよね。
セイヤ
俺はダメで、こいつは良いの？
セイラ
いいの。
セイヤ
なんでだよ！
セイシロウ
でも、ちよつとドキドキしますよね、一緒に部屋というのは。

全員
（ざざつと逃げる）
セイシロウ
ええつ、何ですか！
セイコ
私ら、姉弟なんだから、
セイラ
私は一緒でも良いけど、
セイヤ
もういいよ！
セイコ
でもね、考えるのはその先でしょ。
セイヤ
先？
セイコ
私たちだって、成長する訳じゃない。
セイヤ
するよ。
セイコ
思春期だって迎える訳じゃない。
セイヤ
迎えるよ。
セイコ
はい、想像。目を閉じて。
全員
うん。
セイコ
思春期になって、あなたには好きな人ができます。
全員
うん。
セイコ
なんだか、最近、仲が良くなって、その好きな人から
「私、あなたの家に遊びに行きたい」と言われます。

全員

うん。

セイコ

勢いに負けて、あなたは「いいよ」って言ってしまします。

全員

うん。

セイコ

じゃあ、今度の日曜日ねって話になります。

全員

うん。

セイコ

そんな約束をしてくる奴が、他に4人もいるんです。

全員

ん？

セイコ

はい、目を開けて周りを見てごらん、部屋の中は、合計10人もそんなやつがいるんです！

全員

うええええええええ、多いよ！

セイミ

ていうか、そうになったら、あんたら出て行きなさいよ。

セイヤ

なんですよ。

セイミ

あのね、私が一番最初に目を覚ましたんだから、私が長女なの。

セイヤ

までまで、このやろ。俺は、本当は、お前が目を覚ます前から、目を覚ましてて、寝たふりしてたんだよ。

セイミ

うそつけ！

セイラ

大丈夫だって。あんた達じゃ、相手が見つからないから。

2人

おいおいおいおい、

セイラ

だって、(顔見て) ねえ。

2人

なんだよ！

セイラ

どう考えたって、私でしょ。

セイコ

はは！

セイラ

なに？

セイコ

笑っちゃった。

セイラ

なに、調子にのってんの！

2人

お前もだろ！（やんややんや）

セイシロウ

僕は、みんなかわいいけど。

間

セイシロウ

みんな、かわいいよ。

セイミ

ちよつと。

セイラ

なに、もう。

セイコ

びっくりした。

セイシロウ

かわいいと思うよ。

女3人

もう！

セイヤ

お前、なんか、むかつくな。

セイシロウ えつ、
セイヤ むかつくけど、うらやましいよ。
セイシロウ ひよつとしたら、ものすごく金持ちかもしれないかも。
セイヤ 家？
セイシロウ そう。部屋だってさ、5人じゃ広すぎるかもしれない
ぐらい広いかも。
セイヤ そんなわけねえじゃん。
セイシロウ じゃあ、一人にひとつ部屋があるかも。
セイラ まあ、確かに、そういう可能性だってあるよね。
セイコ ないことはないけど。
セイシロウ なんか、お腹すいたね。
セイヤ 急だな、お前は。

ユキ、舞台奥より登場

ユキ はいけーい、この手紙、よんでーいる、あなたは、
（曲調変わって）私のお腹の中！
セイシロウ なんだ、君は？
ユキ 君？ 失礼だな。
セイシロウ あ、すいません。
セイミ 私は、まあ、君たちのお手伝いというか、世話係とい
うか、食事係というか、教育係というか、
いっぱいあるなあ。
ユキ アンジェラ・ユキです。
ユキ？ そう。アンジェラって呼ばれても、反応しないときが
あるから、ユキって呼んでね。
セイコ はあ。
ユキ はい、これ。
セイラ それは？
ユキ 君たちのご飯です。
セイヤ おお！
ユキ しかも、私の手作り。
セイヤ お、おお。
ユキ うれしくないの？
セイヤ うれしいです。
セイコ でしょ。本当だったら、もつとたくさんあげたいんだ
けどね。5人もいるのは想定外だったから。仲良く、
仲良く分けて食べるんだよ。
セイコ やっぱり。

ユキ やっぱり？

セイコ 望まれてないんですね、私たち。

ユキ そう思う？

セイコ 五つ子って、多いですよね。

ユキ 本当に、望まれてないって思う？

セイコ ユキさん、

ユキ これ。

セイシロウ それは？

ユキ 君たちのお母さんからの手紙。

5人 えっ、(取りに行こうとする)

ユキ まて！

5人 あっ、

ユキ 座って。

5人 はい。

ユキ いい、あなた達は、ここで10ヶ月以上に渡って生活
していくの。

5人 ・・・・。

ユキ 一緒に出られるかもしれないし、出られないかもしれ
ない。

5人 ・・・・。

ユキ でも、ここで、一緒に生活するの。

5人 うん。

ユキ もし、誰かがここから出るになったら、そのとき、
この手紙を渡させてもらうわ。

セイシロウ ここから出るって、

ユキ そのとき、この手紙を読んで、出て行きなさい。それ

までは、私が責任を持って預かるから。

セイシロウ わかった。

セイミ うん。

セイコ 大丈夫。

セイヤ 了解。

セイシロウ 僕も。

ユキ よし、じゃあ、私はそろそろ行くわ。

セイラ ご苦労様です。

ユキ なんかあつたら呼んでちょうだい。すぐに来れないか
もしれないけど、なるべく来るから。

セイラ はい。

ユキ はいけい、この手紙、よんでる、あなたは、

(曲調変わって) 五つつつつつ子なのよ！

ユキ、舞台奥にはける

セイシロウ

「つ」が多い。

セイヤ

ご飯、食べようぜ。

セイラ

うん。

セイコ

やつぱり、望まれてないんだな。

セイヤ

わかんねえだろ、そんなこと。

セイコ

だって、一緒に出られないかもって。

セイヤ

出れるかもだろ。

セイコ

そうだけど、

セイミ

なるようにしか、ならないんじゃない。

セイコ

うん。

セイミ

考えたって、わかんないし。

セイコ

そうだけど、

セイラ

でも、気になるよね。

セイミ

何が？

セイラ

外がさ、私たちを見てどういう反応してるのかって。

セイミ

そりゃあね。

セイヤ

喜んでるだろ。

セイミ

なんでわかるの？

セイヤ

だって5人だぜ。

セイミ

5人だよ。

セイヤ

1人だってうれしいんだから、それが5人ってこと

セイラ

は、うれしさも5倍だろ。

セイミ

そうだけど、

セイヤ

あんた、バカ？

セイヤ

なんだよ。

セイミ

話の流れを聞いてた？

セイヤ

聞いてたよ。

セイミ

いい、確かに、（演技は続くがセリフはフェードアウト）

照明・セイシロウにだけ明かり

セイシロウ

そうなんだ。

照明・戻る

セイミ

だから、あんたはバカなのよ。

セイヤ

うるせえな、それはお前も一緒だろ。

セイシロウ

喜んでるよ。

セイコ なに？

セイシロウ なんか、そう聞こえた気がする。

セイヤ 何言ってるんだ。

セイシロウ お母さんもお父さんも、喜んでるような、そう聞こえた気がする。

セイミ 変なの。

セイラ そうだね、喜んでる、喜んでる。

セイミ おつ、どうした？

セイラ 色々あるかもしれないけど、欲しいから5人もできたんですよ。

セイコ そうだね。

セイラ 欲しいんだったら、喜んでるでしょ。

セイミ 前向き発言だね。

セイラ そう思わないとね。

セイヤ ご飯、食べようぜ。

セイミ よし、食べよう。

セイシロウ お腹、すいたよ。

セイコ (ご飯の袋を見て) あれ？

セイラ 何、

セイコ 4個。

セイラ 4個？

セイコ おにぎりが4個。

セイヤ うそお！

セイミ じゃあ、誰かが、食べれない訳だ。

セイヤ なんだ、この、いきなりサバイバル感のある展開は。

セイミ やるか、やられるかって訳？

セイヤ 言つとくけどな、俺は腕力には自信があるぞ！

セイラ 待って待って、落ち着こう。

セイミ 何？

セイラ 妹弟なんだからさ、そういうのやめようよ。

セイミ そうだね。

セイシロウ 僕、食べたい！

セイラ みんな、食べたいんだって。

セイシロウ でも、僕食べたい。

セイヤ おい、ちよつと黙ってるよ。

セイコ こういふのどうだろう。

セイラ 何、

セイコ まず、みんな半分を食べましょう。

4人 うん。

セイコ そうすると、残ったおにぎりは何個？

セイヤ 知らん。

セイミ わからん。

セイラ 1個？

セイシロウ 僕、食べたい。

セイコ ……、1個と半分ね。

4人 おお。

セイコ そうすると、次のご飯のとき、おにぎりは何個になっ

てるでしょう。

セイヤ 知らん。

セイミ わからん。

セイラ 5個？

セイシロウ 僕、食べたい。

セイコ ……、5個と半分ね。

4人 おお。

セイコ そうすると、2回に1回は、まるまる1個は食べれる
と。

4人 なるほど。

セイシロウ 残りの半分は？

3人 ん？

セイシロウ 半分、残るよね。

3人 おっと、

セイコ まあ、半分は、案を出したんだから、私が食べてもい
いかなと、

セイヤ まてまで、そこは違うんじゃないのか。

セイミ そうね、長女だから、私が食べようかな。

セイヤ だから、俺はおまえよりも前に目が覚めてたんだって、
そんなこというなら、私だって、

セイラ 何よ！

セイミ (やんやんや)

ユキ・いつの間にか、舞台奥にいる

ユキ 何してるの？

セイミ ちよつとユキさん、こいつがおにぎりの半分食べよう
としてるんです。

セイヤ 食べようとしてるのはおまえだろ！長女という権力を
振りかざして、

セイミ 長女として認めてくれるのね。

セイヤ 認めないよ！

ユキ 元気があっていいね。

セイラ
ユキ
セイラ
くじ引きでいいんじゃない。
くじですか。

ユキ
セイラ
そういうのも、運でしょ。
まあ、そうだけど。

ユキ
セイラ
よし、私が次までに作ってきてあげよう。
ありがとう、ユキさん。

ユキ
セイコ
どういたしまして。
でも、そもそも4個なのがいけないんじゃないんですか。

セイヤ
そうだよ。

ユキ
セイラ
ごめんね。4個しか、できないんだよね。
そうなんだ。

ユキ
セイラ
仲良く、仲良く分けてね。
はい。

セイシロウ
ユキ
僕、食べてもいいの？
いいの？

セイラ
ユキ
半分なら。
半分ならいいって。

セイシロウ
セイヤ
やった！
俺も食べる。半分ずつな。

セイミ
セイラ
食べようか。
うん。

みんながおにぎりを半分にして、食べる。

セイコ
これ。

ユキ
くれるの？
いいよね。

セイコ
4人
いいよ。

ユキ
セイコ
ありがと。
次からは、くじ引きだから、ないですけど。
ありがと。

ユキ、ゆつくりとセイシロウの前に行き、

ユキ
セイシロウ
これ、（ヘアーバンドのようなものを出す）
何、これ？

ユキ
セイシロウ
頭に、つけといて。
わかった。（ヘアーバンドをつける）

セイミ
ユキ
セイミ
ユキ
あの、ユキさん、これ？
障がい。
……。
その子、頭に障がい、持ってるから。

ユキ、舞台奥にはける
セイシロウ、おにぎりを食べる

しばらくの間

暗転

明かりがつくと写真を撮っているようなボジション
舞台奥には、ユキがいる

セイシロウ
はい、チーズ！

セイミ
撮れたの？

セイシロウ
撮れたみたい。

セイミ
ほんとに？

セイシロウ
うん。

ユキ
何してるの？

セイミ
おお、びっくりした。

セイコ
いるならいるって、言つてよ。

ユキ
ごめん、ごめん。

セイラ
ええと、写真を撮ってます。

ユキ
写真？

セイコ
正確には、撮られてます。

セイシロウ
エコー写真っていうらしいんですけど、

ユキ
詳しいね。

セイヤ
なんか、こいつ、外の声が聞こえるって。

ユキ
えっ、

照明・セイシロウに明かり

セイシロウ
もう1回、撮る。

照明・戻る

セイミ
撮るの？

セイシロウ
撮るみたい！

セイヤ どうする？
セイラ どうするって、
セイヤ 「元気だぜ」みたいな感じをアピールしとく！
セイラ そうだね。
セイヤ よおし、じゃあ、元気だぜ！

ポーズするが誰もやってない

セイヤ やれよ！
セイシロウ 撮るよ！
セイミ よし、あれだ、ピラミッドだ！
セイヤ ピラミッド？
セイミ 神秘的な感じで、元氣的だし。
セイヤ よくわかんねえよ。
セイミ いいから、私、下いくね。
セイヤ じゃあ、俺も。
セイラ 私もか。
セイコ 私、2段目ね。
セイシロウ 僕、3段目がいい！
セイヤ わかったから、早くしろ！
セイコ そもそも一人足りないんだけど。
セイミ そうなの？
セイヤ 馬鹿ばっかし！
セイミ ユキさん！
ユキ 私？
セイミ お願ひします。
ユキ えー！
セイミ 早く！
ユキ わかったよ。

ユキ、2段目にのる
セイシロウ、3段目にのる

セイシロウ 撮るよ！
セイミ 顔あげて、神秘的に、元氣的に！
セイシロウ はーーーーい！

照明・セイシロウに明かり

セイシロウ 終わったみたい。

セイラ
みんな食べたいよね。
うん。

セイコ
ありがとね。

セイミ
何が？

ユキ
ううん、なんでもない。

セイヤ
よし、今日の当番は？

セイミ
私。

セイヤ
早く。

セイミ、くじ引きを用意して

セイミ
どうぞ。

みんな、くじ引きをする

セイシロウ
やった！ あたりだ！

4人
いいなあ。

セイシロウ
じゃあね、

セイシロウ、おにぎりを選びに行く

セイヤ
待った！

ユキ
どうしたの？

セイヤ
お前は、一番最後だろ。

セイシロウ
そうだった。

セイヤ・セイカ、おにぎりを選びに行く
セイシロウも見に行き、ニヤニヤしてる

ユキ
どういうこと？

セイラ
おにぎりの中身、わかるんです。

ユキ
中身？

セイラ
いつも当てるんですよ、中身。

ユキ
ふーん。

セイラ
だから、最後じゃないと不公平だって。

ユキ
そうなんだ。

セイヤ
よし、これでいいか。

セイミ
ええ、あつちがいい。

セイヤ
お前、

セイカ
じゃあ、私、こっちにする。

セイラ　　いいよ。
セイミ　　あつ、取られちゃったじゃん。
セイヤ　　うるせえな、こっちのがいい具が入ってるんだよ。
ユキ　　ねえ、当ててみてよ。
セイシロウ　ん？
ユキ　　中身。
セイシロウ　これはね、「おかか」。
ユキ　　当たってるかも。
セイシロウ　あと、あれは、
セイヤ　　（おにぎりを出す）
セイシロウ　あれも、「おかか」。
セイミ　　えっ、
セイヤ　　待て待て待て、お前のが「おかか」だろ。
セイシロウ　うん。でも、それも「おかか」。
セイヤ　　そんなはずは、（ユキの顔をうかがう）
ユキ　　（当たってるかも。）
セイヤ　　ええ！

セイヤ・セイミ、中身を確かめて、ショック

セイシロウ　で、あれが、
セイコ　　やめて！
セイシロウ　ごめん。
セイヤ　　なんでだよ、やれよ。
セイコ　　やめてよ、楽しみがなくなるじゃない。「おかか」、「おかか」と来てるわけだから、これすごいんじゃない。
セイミ　　いや、「おかか」でしょ。
セイヤ　　「おかか」だろ。
セイコ　　（ユキの方を見る。）
ユキ　　（首を振る）
セイヤ　　ええ—————！
セイミ　　ええ—————！
セイコ　　ほら、来た！
セイミ　　何が入ってるの？
セイシロウ　あつ、
セイラ　　ちよつと、何、もう！
セイシロウ　ごめん。
セイシロウ　みちやつた？
セイラ　　うん。
セイラ　　見ないでよ、もう。

セイシロウ　ごめん。
セイコ　やばい、ドキドキしてきた。ええと、じゃあさ、最初の一文字目、何？
セイシロウ　最初の一文字？
セイコ　うん。
セイシロウ　「し」。
セイコ　「し」。

間

セイコ　来た、これ、「シヤケ」だ——————！
4人　（大きく）イエー—————イ！　やった、やった、やった、やった、
セイヤ　すげえな、お前ら、レアだな。
セイコ　よかったね、私たち、今まで頑張ってきて、よかった。
セイシロウ　ごめん。
セイコ　ん？

「シヤケ」じゃないんだ。
違うの？（ユキを確認）

ユキ　（うん、違う）
セイコ　じゃあ、あれ、「シーチキン」だ——————！
4人　（中くらい）イエー—————イ！　やった、やった、
やった、やった、
セイシロウ　それも違う。

えつ、じゃあ、

「塩」。

「塩」？

「塩だけ」。

「塩ジャケ」。

（大きく）イエー—————イ！　やった、やった、

「塩だけ！」

だけ？　オンリー、シオ？

何も入ってない。

（ユキを確認）

（ごめんね）

セイコ・セイラ、へたり込む

2人　（小さく）イエー——イ！　やった、やった、やった、
セイコ　どういふことなんですか、ユキさん。

ユキ　ごめんね。
セイコ　ごめんって。
ユキ　それが、精いっぱいのご飯なの。
セイコ　えっ、

間

セイコ　精いっぱい。
ユキ　私ができる、精いっぱい。

照明・セイシロウに明かり

セイシロウ　病気なの？

照明・戻る

ユキ　ん？
セイシロウ　病気なの？
ユキ　うん。
セイラ　じゃあ、
ユキ　多分、5人全員は、できないかも。
セイコ　できないの？
ユキ　「かも」じゃないね。できない。
全員　・・・・・・・・。
ユキ　ごめんね。

間

セイシロウ　（おにぎりを半分割って）これ。
ユキ　なに？
セイシロウ　ユキさんも食べてないんですよ。
ユキ　・・・・・・・・。
セイラ　そうなの？
ユキ　私は、
セイシロウ　食べよう！
ユキ　えっ、
セイシロウ　食べよう、おにぎり。
セイミ　よし、食べよう。
セイヤ　そうだな。
セイラ　うん。

セイコ 具、入ってないけどね。

ユキ以外が輪になる

セイミ ユキさんも。

ユキ ありがと。

ユキ、輪の中に入る

しばらくして、ユキ、はける

全員、寝る準備

照明・暗くなる

しばらくの間

セイシロウ、起き上がり外に出ようとする
ユキが現れ、それを見つける

ユキ どうした？

セイシロウ 出ていこうかな。

ユキ 出ていく？

セイシロウ うん。

ユキ 出ていくって、

ここにいたら、いけないような気がして。

ユキ ……。

セイシロウ うん。

ユキ そう。

うん、そうする。多分、あの人たちの方が、僕より、まわりを幸せにできるから。まわり？

ユキ さんとか。

ユキ ……。

セイシロウ うん。

私もね、あなたをここから出しにきたの。

セイシロウ うん。

ユキ 知ってたの？

うん。いろいろ、聞こえた。

ユキ そうか。

セイシロウ うん。

ユキ つらかった？

セイシロウ 「しょうがない」って言ってた。

ユキ 誰が？
セイシロウ 男の人。
ユキ そうか。
セイシロウ しょうがないんだよね。
ユキ しょうがないのかな。
セイシロウ じゃあ、しょうがない。
ユキ そうだね。
セイシロウ あの人たちじゃなくて、僕なんだよね。
ユキ ……
セイシロウ あの人たちじゃなくて、
ユキ あの人たちじゃないでしょ。
セイシロウ えっ、
ユキ 言い直しなさい。
セイシロウ 姉ちゃんたちじゃなくて、僕なんだよね。
ユキ そう、……あなたなの。

間

セイシロウ よし、いく。
ユキ うん。
セイシロウ いろいろありがとう。
ユキ 姉ちゃんたちに、挨拶いいの
セイシロウ うん、多分、行くなって言うから。
ユキ この子たちなら、言うだろうね。
セイシロウ うん。
ユキ そうか。
セイシロウ (ユキに) 今まで、ありがとう。楽しかったです。
ユキ この子たちに言いなよ。
セイシロウ (みんなに) 今まで、ありがとう。楽しかったです。

セイシロウ、行こうとする

ユキ セイシロウ。
セイシロウ 僕？
ユキ セイシロウ。
セイシロウ 僕の名前？
ユキ そう。
セイシロウ そうなんだ。セイシロウか。
ユキ うん。
セイシロウ かつこいい。

セイシロウ 何、

セイシロウ
あつ、

セイシロウ
言つてたね。

セイシロウ
ありがとう。

セイシロウ
読んでもいいの？

ユキ
いいよ。

セイシロウ、手紙を読む。

セイシロウ
おかしいな。

コキ
ん？

セイシロウ 僕はさ、いいことをしているはずなのに、「ごめんね」

つて書いてある。

二
キ

セイシロウ
なんでだろ。

口癖だからね。

セイシロウ えつ、

ユキ
口癖だから、

セイシロウ
そうち

ユキ
うん。

セイシロウ 僕さ

ユキ
ん？

セイシロウ どう

受精して、間もないころに出ていくことになった子達

はね、みんな母親の体に吸収されるの

セイシロウ 吸収？

ユキ
そう。
一緒に
なれる
んだ。

セイシロウ
じやナ

うん。

セイシロウ 姉ちゃんたちのことも また

あえないけど
わかると思う

セイシロウ
そう。

コキ
うん

セイシロウ 姉ちゃんたち 幸せになつてくれるといいな

コキ
こめんね

セイシロウ
ユキ
セイシロウ
ユキ

口癖だね。
・・・・・。
お姉ちゃんたちのこと、よろしくお願いします。
うん。

セイシロウ、ゆつくりと段差を降りていく
ユキ、セイラ・セイコ・セイヤに障がいをつける
照明・ゆつくり暗転
明かりがつくと、舞台の4隅にいる子供たち
ユキ、階段の上にいる

言葉のない時間

セイラ
セイコ
セイラ
セイヤ
セイコ
セイラ

私、出た方がいいのかな。
ずるい聞き方だね。それで、「出た方がいいよ」って言
えるわけないでしょ。
「じゃあ、出た方がいい」って思ってるってこと？
俺は出たくないよ！
私も出たくないよ！
そうだけど、このままじゃ、ダメなんですよ。

ゆつくりとユキを見る子供たち
ユキ、うなづく

セイヤ
セイラ
セイコ
セイラ
セイヤ
セイコ
セイラ
セイヤ
セイコ

よく出ていけたよね、あいつ。
うん。
出ていけないよね。
うん。
何となくは、そうしないといけないんだろうなっと思
うけど。
思うけどさ、できないじゃん。
思うけど、やれないよね。
うん。
だからさ、

セイコ・セイヤ・セイラ、ゆつくりセイミをみる

セイコ

私が、一番最初に目を覚ましたんだから、長女だから
って、だから、私が残るって。そういつてくれたらさ、
なんか、しょうがないって、納得できるような気がす

セイラ

るんだけど。・・・、言えはいいのに。
私も、いっぱい言いたいことあるし、言ってもしょうがないことなのかもしれないけど、いっぱいあるし。きれいなことなのかもしれないけど、いっぱいあるし。でも、しょうがないっていうか、私がお姉ちゃんなんだから、生きるって。・・・言えはいいのに。
俺も。めちゃくちゃいっぱいあるけど、言いたいこと山ほどあるけど。でも、なんか言うと、自分が卑怯な感じがして、それでもいっぱいあるけど。でも、そんなのもひつくるめて、お姉ちゃんにまかせなさいって、あんた達の分まで生きるって。・・・言えはいいのに。

セイヤ

間

セイコ

私の体には、障がないから、私が生きるって言えはいいのに！

セイミ

できた。できたよ。・・・よし、さあ、引いてくれ。

セイコ

何？

セイミ

おにぎりくじ。

セイラ

えっ、

セイミ

私さ、馬鹿だからさ、あんまり考えられなくて。

健康だけが取り柄だからさ、あんまり考えられなくて。

1人いなくなつて、4人になつて。

みんながそうなつて、私はそうならなくて。

みんなの考へてることがちよつとわかつて、でも受け取れなくて。

みんなの不満もちよつとわかつて、でも受け取らなくて。

みんなの優しさもちよつとわかつて、でも受け取りきれなくて。

馬鹿だけど、自分なりに考へたら、これが一番いいんじゃないかって。

ユキさんから紙もらつて。

間違えて5枚作っちゃつて。馬鹿だなあつて、思つてもつと早く気付いてやつてたらなあつて。

セイラ

お姉ちゃん。

セイミ

だから、引いて。

セイミの手の中にあるくじを引く

お互いのくじを確認して、ゆつくりと距離をとる
ユキ、階段を降りてくる

ユキ

セイラ。

セイラ

(手紙を受け取る)・・・。

ユキ

セイヤ。

セイヤ

(手紙を受け取る)・・・。

ユキ

セイミ。

セイミ

(手紙を受け取る)・・・。

ユキ

それが、あなたたちの名前。

セイラ・セイヤ・セイミ、手紙を読み始める

セイラ

(同時) ごめんね。

セイヤ

(同時) ごめんね。

セイミ

(同時) ごめんね。

セイラ・セイヤ・セイミ、ゆつくりいなくなる

ユキ

これ、ご飯。

セイコ

・・・。。。

ユキ

1個だけ。

セイコ

・・・。。。。。

ユキ

お姉ちゃんがさ、私のところに来てね。

セイコ

・・・。。。

ユキ

馬鹿だから、よくわかんないけど、運命ってこういう

ものなのかなって。

・・・。。。。。

何が幸せなのかは、やってみなけりゃわかんないです

よねって。

セイコ

・・・。。。。。

ユキ

馬鹿なのに。

セイコ

・・・。。。。。

ユキ

手紙、最後に渡すから。

セイコ

うん。

親子のような時間

ユキ

お腹、減ってるでしょ。おにぎり、食べな。

セイコ

ありがと。

セイコ

セイコ、ゆつくりとおにぎりを割ると、

シヤケだ。

終演